



東北  
技あり企業

エントニアラシテ

商品の形には拘るな付いていない。その代わりに野菜や果物のイラストが描かれたタグ。店内の「今週の値段表」によると、「イチゴ」は1500円。でも今日は火曜日。いた。

そんな「タグ」感覚が楽しめる。毎週水曜日に値下がりする独自なシステムが受け、約10年で国内に65店を展開、9月に初の海外店をカンボジアに開いた。

タグはニンジン、モモなど10種類。値段表には、それぞれの価格が100円から7000円まで10段階で表示されている。値段表が毎週水曜日に変更され、1段階ずつ値下がりする仕組みだ。900円になったイチゴは翌週店「ドンドンダウン・オンライン・エンズデー」では、水曜に500円、翌々週

19歳で渡米した岡本社長は、やがて米国のビンテージ古着を日本で売る仕事を始めた。東京で出店と閉店を繰り返した後、競合の少ない盛岡に進出。2005年に不振だおり「古着への抵抗感はた物が多いが、日本では1シーズン着ただけなど新品同様の物も多い。古着と新品の服をコーディネートする「古着ミック」を楽しむ人も増えています」と語る。

は洋野町に設置、岩手町にも置く予定だ。

部に出店し、大阪中心部にも出店予定。これらを拠点に関西の店舗網を広げる。カンボジア店を足がかりに海外展開にも力を入れる考えだ。

売り場にワクワク感



店内至る所にある値段表で商品の「時価」が分かる

《会社の横顔》	
所在地	本社は盛岡市。北青山（東京・港）に支社、国内外に66店
発祥	1991年に古着店創業。95年に盛岡進出、97年に本社移転。05年に「ドンドンダウン」開店、10年に現社名に変更
規模	13年8月期の売上高13億6188万円。社員は約180人
ここに注目	値札を交換する手間をかけず、毎週水曜日に商品が自動的に値下がりするシステム

「どうせなら参加料888円、制限時間8分で古着が着放題のたことをやろう」と現れた店で薄れている」(菊地さん)。在の仕組みについている。

はアジアやアフリカで人気」（菊地さん）。傷みが激しく海外でも売れない服はウエス（工業用雑巾）などに再利用す  
る。